

令和6年度（川崎北高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課題	目標	実施結果と目標の達成状況
○生徒の個人情報の取り扱い	<p>職員一人ひとりが、生徒の様々な個人情報をについて理解を深め、収集・利用・保管を適切に行う。</p> <p>生徒の連絡先の適切な収集を行い、私的な通信は行わない。</p>	不祥事防止研修会で、さまざまな個人情報の取り扱いや管理方法を確認した。情報記録媒体やクラウドの使用方法の遵守と管理の徹底を行い、管理職による点検を通年で実施した。
○職場のハラスメントの防止	<p>職員間だけではなく、教育公務員として、誰に対しても公平で、尊重した態度で接し、パワハラ・セクハラ・マタハラ等を防止する。</p>	不祥事防止のための資料を使用し、不祥事防止研修会で個人情報の収集や連絡方法、相談対応等を再確認した。日常的に注意喚起を行うとともに、チェックリストを用いて、セルフチェックを行った。また、生徒からの相談に対する対応について全職員で確認した。
○定期試験・成績処理の事故防止	<p>公正な試験を実施し、適切な成績処理を行う。</p>	教務開発グループが作成した成績処理マニュアルに従い、成績処理、帳票作成を行った。教務手帳は、専用ロッカーで一括管理し、保管状況を点検した。また、ヒヤリハットの事例を共有し、注意喚起を行った。また、ミスはいつでも起り得ることを念頭に置いて、ダブルチェックの徹底を呼びかけた。
○体罰、不適切指導の防止	<p>職員が人権感覚を高め、生徒の人権を尊重し、心身の発達や安全に留意した適切な指導を行う。</p>	研修を通して、人権尊重の意識を高めるとともに、インクルーシブな学校づくりに向けた共通認識や協働の重要性を再確認した。
○服務規律の徹底、法令遵守意識の向上	<p>勤務時間の内外を問わず公務員として信頼される行動をとる。職務を公正に遂行する。</p>	通知文書の掲示や朝の打合せにおける注意喚起により、服務遂行の周知徹底を行った。不祥事防止研修会で職員行動指針の確認と服務に関する自己チェックを実施した。全職員に全体の奉仕者であることを常に意識させるようにした。
○個人情報の適切な取扱い、情報セキュリティ	<p>個人情報について理解を深め、個人情報の保護と安全な運用を目指す。</p>	不祥事防止研修会で、さまざまな個人情報の取り扱いや管理方法を確認した。情報記録媒体やクラウドの使用方法の遵守と管理の徹底を行い、管理職による点検を通年実施した。

○適切な私費会計の取扱い	適正な会計処理・物品管理、廃棄を実行する。 財務に敏感になり、子どもの教育を保障する。	財務事務調査の結果を伝えると共に私費会計に関する研修会を開き、備品の定期点検を実施した。適正な会計処理を遂行するために、職員に迅速な執行、領収書の点検管理を促した。
○飲酒運転等の根絶	交通事故の発生を未然に防止する。	不祥事防止研修会において、交通事故防止の注意喚起を行った。急いでいる時こそ気持ちの余裕を持って行動するよう伝えた。
○入学者選抜の事故防止	入学者選抜の点検体制を整備する。 個別教育計画、進路、実習関係書類作成時の管理と処理を適切に行う。	県のマニュアルに則り、要項を作成し、職員一人ひとりが責任をもって業務にあたり、公正な入学者選抜を実施することができた。
○職場のハラスメントの防止	職員一人ひとりがお互いの人格を尊重し、協力して業務にあたる。	不祥事防止のための資料を使用し、不祥事防止研修会で注意喚起によりを行った。服務遂行の周知徹底を行った。人権尊重の意識を高めるとともに、インクルーシブな学校づくりに向けて職員の共通理解を図った。
○コンプライアンス意識の醸成	必要なルールをしっかりと理解して、自分を律すること。	県教育委員会では「教員のコンプライアンスマニュアル」を作成し、必要なルール等をまとめているところですが、今回の点検資料も活用しながら自分を守るためにも正しい知識を身に付けていきましょう。
○風通しの良い職場づくり	一定の規律・節度を保ちつつお互いを尊重しながら議論を行い、業務の生産性を向上していくけるような職場づくりを目指す。	管理職との個人面談や日常の会話の中で、職員一人ひとりに、事故防止の観点から心がけていることや工夫していることを確認した。不祥事防止の個々人の意識は高まっていることが確認できた。これからも職員の世代や教科を超えたコミュニケーションが活発になるような職場づくりを目指すことの重要性を確認した。

○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題 (学校長意見)

教員自身が講師となり、各自が問題意識を持って不祥事未然防止に取り組んだ。年間計画どおりに実施し、目標を達成することができた。小さなミスを繰り返さない、組織としてミスを起こさない意識を醸成させることが課題である。

個人情報の管理を徹底するとともに、誰もが互いに尊重し合い、良好な関係で結ばれている、人権を尊重した学校、職場づくりに取り組んでいく。

今後は外部講師の方による研修を実施し、教員間のコミュニケーションについて意識向上を図り、風通しの良い職場づくりに努め、さらに不祥事防止の意識を高めていきたい。